

Vol. 134

中央学院大学

学報

一人ひとりと向き合い、寄り添う教育。

STAND BY YOU

【特集】GIRLS POWER OF CGU

Challenge yourself
to achieve
excellence.



学長
市川 仁

考える力を育み、人間的な成長を

昨年7月に学長に就任してから、1年が過ぎました。目の前の問題を解決することに終始した1年でしたが、学長の役割、仕事をあらためて実感したというのが正直な感想です。その上で今後は、これからの時代を見据えた大学のグラウンドデザインを拡充していかなければと考えています。

18歳人口の減少という厳しい時代を迎える中、本学は学生にとってさらに魅力ある大学にならなければなりません。そのためには、教育内容の一層の充実と施設・設備の拡充の2点が必要だと考えています。教育内容に関しては、専門知識を基に自分で「考える」力を養いたい。自ら課題を見つけ解決し、より大きな目標にチャレンジする人材を育てるべく、各学部と協力しながら教育改革を進めていきます。また国際交流の場を増やす取り組みも始めており、多様な価値観に触れ、人間的に成長して欲しいと願っています。

施設面では、現在学生会館Viaの改修を進めており、今秋から「学生生活の充実を目的とした学習・活動・憩いの場」として利用できます。その他の施設・設備についてもさらに改善を進め、学生がより過ごしやすい環境を提供していく予定です。

「令和」の時代をひとつの区切りとして『STANDBY YOU』のスローガンの下、本学は学生一人ひとりに寄り添いながら、新たな一歩を踏み出します。今後のCGUにご期待ください。



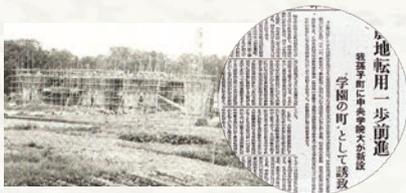
HISTORY OF CGU



私たちの学び舎、中央学院大学。その歴史は明治時代に始まりました。中央学院創立者である高楠順次郎は、明治33年、日本橋簡易商業夜学校を設立。以来、実社会で活躍する人材を輩出しながら現在へと続いています。いま改めて知っておきたい、中央学院大学の歴史をひもときます。

倫理観に支えられた 真に有能な人材を育てよう

新時代を担う人材育成のため、高等学校の整備が急務であった明治初期。高楠順次郎はオックスフォード大学留学中、英国社会での商業倫理の高さを実感します。「今こそ、教養と倫理を身に付けた、商業人の育成を目的とする実業学校を作るべきだ」。明治33年、高楠は日本橋簡易商業夜学校を設立しました。時代は昭和へと移り、中央商科短期大学・中央高等学校・中央商業高等学校の3校を擁する中央学院が、さらに優れた人材を育成すべく目指したのが4年制大学の創設です。



校舎建築中の様子

時はまさに高度経済成長時代。「時代に乗れながらも時流に左右されない大学を創ろう。そして日本経済の真の発展を担う人材を送り出そう」。設立の動機には、「公正な社会観と倫理観の涵養」という、確かな哲学がありました。

理想の教育環境を我孫子に発見

大学設立時に最も重要な条件のひとつである「立地」。学生の勉学や教育・研究活動に適した閑静で安全な地域環境、通学・通勤の利便性、首都東京に近いという交通の便、そして十分な用地を確保できるとともに地価が適正であることなどが挙げられます。複数あった候補地から選出された千葉県我孫子町(現・我孫子市)は、現地調査の結果、自然環境は申し分なく、交通の便も常磐線で都心と直結し、成田線(我孫子~成田)出発駅であること、また当時、国家プロジェクトとして筑波研究学園都市構想が持ち上がっており、将来的には

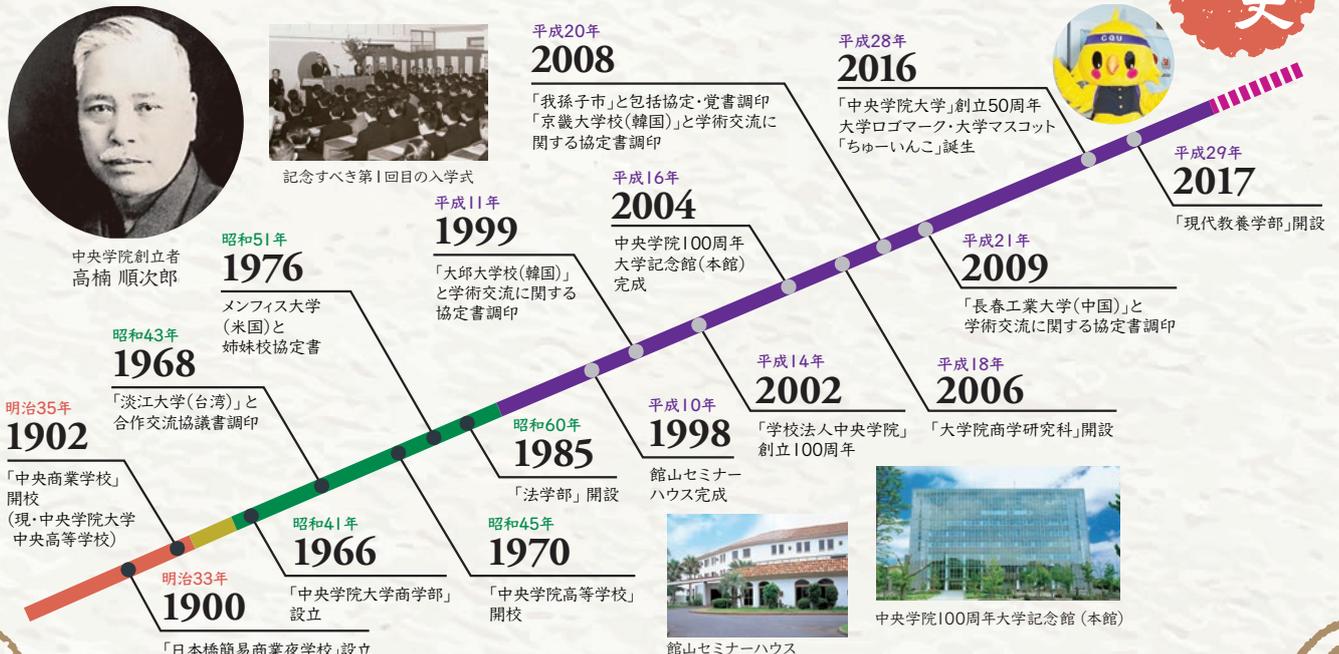
相互の研究連携も想定されることから、最適なロケーションと判断されました。

建学の精神、教育理念は時代を超えて

こうして昭和41年に開学した中央学院大学は、「公正な社会観と倫理観の涵養」を建学の精神に掲げました。もちろん大学である限り、筋道の通った学問の研究、徹底した専門教育の実施は必要不可欠です。しかし、それらはすべて「人間」に回帰するという大前提があつてのこと。中央学院の学祖、高楠順次郎による仏教精神を基調とした「人間教育」の神髄が、新大学にしっかりと受け継がれてゆきました。建学の精神をもとに、「公正な社会観と倫理観の涵養をめざし、徹底した少数教育を通じて、実力と創造力を備えた有能な社会人の育成」との教育理念が定められ、以来この理念は時代を超えて、揺るぎなく中央学院大学を支えているのです。

出典：中央学院大学 五十年の歩み、中央学院100年史

学校法人中央学院の歴史



Chuo Gakuin University Graduate School

大学院商学研究科（修士課程）

より専門的な学びと研究ができる大学院。CGUの大学院は少人数制で丁寧な指導が魅力です。また、在学生割引のある資格取得講座も多数用意。就職をバックアップする仕組みを備えています。

留学生 ジョ ギョウテキ
徐 曉迪 (院1年)



徐さん（左）と望月教授（右）

もともと本大学で経営学を中心に4年間学び、会計にも興味を持つようになりました。将来の進路を考えた際、大学院でもっと会計学について深く研究したいという思いもあり、本大学院では会計系列授業が充実している、さらに税理士を含めた会計関係資格を取得するのに役に立つと思い、進学を決めました。商学研究科では自分の研究分野に限らず、ビジネス、情報、会計等の多方面で総合的に商学に関する知識を学び、研究できることが魅力だと思います。現在はビジネス・ローと会計学の関連性について研究しています。また、会社法のコンプライアンスに関して興味を持って学んでいます。

今後、会計学や会社法の重要性及び影響力に関して、指導教授の指導のもとで成果を出せるよう研究していきたいです。より専門な会計知識を身に付けるよう、大学院での2年間で有効活用し、日本で就職するために資格取得講座を受講して会計などの資格を取得したいと思います。将来は、日中間のビジネスの場面で活躍できるようになりたいです。

社会人学生 きくち みきひこ
菊池 幹彦 (院2年)



菊池さん（左）と椎名教授（右）

税務会計実務歴50年を積み重ね、その背後にある会計理論をもう一度研究したくなりました。また、本大学院では、大学院生の修士論文による税理士試験免除の実績があることを知り、私も同様に免除を受けることができればと思い、受験しました。大学の図書館では多くの修士論文を目にする

ことができ、参考文献・資料もたくさんそろっています。研究室にはパソコン等も完備され、授業時間以外でも充実した時間が過ごせるところが魅力だと感じています。

大学院では実務経験上、疑問の多い「棚卸資産」について、その評価や損益計算の目的等の研究をしたく、現在、棚卸資産会計の歴史を学んでいます。歴史的な研究は業務全体を振り返ることに通じ、各事業が人間社会の形成にどのように貢献しているのかを学ぶことでもあります。修士論文作成中に学んだことを、機会あるごとに私の業務に携わっている人に伝えられたらと思います。このように現在の研究は後進の指導にも役立つと思います。本研究科はアットホームな雰囲気、厳しい中にもリラックスして研究ができる環境で満足しています。

CGUBOOKS

向田邦子文学論

著者：水藤 新子（商学部准教授）
出版：新興社

没後40年を迎えようとする今なお愛される作家・向田邦子の作品の魅力に、研究者と愛読から成る研究会が鋭く迫った文学論集。研究案内・付録資料も備え、向田文学がより深く味わえるようになる1冊。広く日本語の文体・表現を研究領域としている筆者は、かつて桃井かおりと松田優作（NHK）、この春、倉科カナとEXO・カイ（WOWOW）でドラマ化された短編小説『春が来た』の表現を分析した。



健康とスポーツ

ハンドブック＆ワークブック
著者：増山 光洋（現代教養学部准教授）
村本 伸幸（商学部教授）
出版：ブックハウスHD

これから健康および体育、スポーツ分野に携わる方に向けた教科書として、コンパクトな記述で幅広い分野を網羅した一冊。スポーツ医学の基本を押さえ、スポーツを安全に行うための方法もまとめられている。

どうすれば協働学習がうまくいくか

失敗から学ぶピア・リーディング授業
著者：田中 啓行（法学部講師）
出版：ココ出版

近年、学生同士が協働して学び合うピア・ラーニングが多くの教育現場で行われています。しかし、いざやろうとするとうまくいかないことも多くあります。この本は、留学生対象の読解授業で実際に「ピア・リーディング」を行ったデータから、うまくいった点だけでなく失敗した点も分析し、グループや課題の作り方、ディスカッションの進め方、教師の介入の仕方など、ピア・リーディング授業を行う際の指針を示しています。



『現代思想』Vol.47-5

著者：川久保 文紀（法学部教授）
出版：青土社

特集「新移民時代—入管法改正・技能実習生・外国人差別」に、拙稿「国境の壁とテイクポリティクス」が掲載された。他の執筆者は、森千香子—橋大学准教授ほか18名。拙稿では、トランプ政権の排他的な国境管理政策に代表されるように、世界における国境の壁が増加し、質的に変容してきた諸相について、「テイクポリティクス」（壁を作る政治・政策）や国境の軍事化・民営化という観点から検証した。

商学部

新任教員紹介

質問 ①学生時代はどのように過ごしていましたか ②専門分野の「ここが面白い!」と思う部分について教えてください ③学生へのメッセージ

教授 おお えき じゆん
大驛 潤



①学生時代に指導教官から物事を「知る」ということの意味を教わりました。「いくら学んでも、自分で考えなければその知識は身につかない」。相当の準備、努力、研究を積み重ねる日々でした。

②例えば、1ℓの容器には1ℓの水しか入りません。どうすれば水をたくさん入れることができるか? 答えは、器を大きくすればいいだけです。では器を大きくするためには? その方法を考え、実行し、結果を導くのがマーケティングの面白さです。③皆さんの世代は、平均寿命が100歳となるでしょう。100歳時代でも生き抜く力を手に入れることが不可欠です。知識の研磨の学生時代を、人生の有益な助走としていきましょう。

専門分野：マーケティング

准教授 もり もと あき ふみ
森元 晶文



①学生時代はラグビーサークルとゼミの活動が中心でした。ゼミでは途上国の開発問題を中心に勉強し、終了後には国内外の社会問題を議論するなど濃密な時間を過ごしました。②貿易は私たちの日常生活に直接関わっています。貿易を通じて生活の変化を知ること、またフィールドであるフィリピンを始めとする海外の人々の生活に触れられることも研究の楽しみです。③大学は何よりも勉強をするところです。ただ、勉強するだけでなく、10年後、20年後になっても信頼できる友人、尊敬できる人を見つけられる場所でもあります。勉強でも、それ以外でも挑戦と失敗を重ね、自分の可能性を広げてください。

専門分野：貿易論、アジア経済論、途上国開発論

講師 まつ い かず ま
松井 一馬



①学生時代はバンドサークルで洋楽中心のカバーバンドをしつつ、ファンタジー系文芸サークルで読書会や創作をしたり、他大学の映画サークルで自主映画を作ったりしていました。②文学には、その時代その地域の人々の姿が描かれているだけでなく、そこでの考え方や価値観がその後の社会を形作っていくという側面があります。特に19～20世紀のアメリカ文学からは、現代のグローバル社会の根本が見いだせると私は思います。③「知は力なり」と言います。色々なことに関心を持って、知ろうとしてください。数値などで測れはしませんが、そうやって積み重ねた知識は、様々な形であなたの役に立つでしょう。

専門分野：アメリカ文学

ゼミ紹介 ます お けん いち **増尾 賢一 ゼミ**

私のゼミのテーマは「日本企業の経営と財務」です。ゼミ生が自ら積極的に経営学や経営財務論の論点をディスカッションし、財務分析の鍛錬を積み重ねていくことにより、「経営財務の視点から企業経営の実態を見抜く力」を養い、備えることを目指しています。この力は、就職活動の際に企業研究、企業評価を行う上で役立つことはもちろんですが、実はそれ以上に、会社に入ってから仕事で様々な意思決定をする際に大きな力となって自分を助けてくれます。私は元銀行員で、預金業務、融資業務、外国為替業務を経験してきました。業務を行う上で大切だと思ったことは、数字の背後にある相手企業の経営の実態を見抜き、正確に捉えることです。そうしなければ正しい判

断、正しい意思決定はできません。この力をゼミ生に身につけてほしいと思い、毎回ゼミの授業を行っています。

まず2年次の演習Iでは、基礎固めとして経営学全体を広く学んでいます。経営学の基本的なテキストを用いて、企業形態の展開、株式会社の特質、経営戦略、経営組織、経営管理等についてレジュメを作成し、みんなでディスカッションしています。3年次の演習IIでは、経営財務論の基礎的テキストを用いて、企業の資金調達と資金運用、資本市場と投資、資本構成と配当政策、コーポレート・ガバナンス等についてディスカッションするとともに、EDINETで上場企業の有価証券報告書を見て、基礎的財務分析(収益性分析・安全性分析・成長性分析・生産性分析等)の鍛錬を積んでいます。4年次の演習IIIでは、演習I・IIで学んだ経営学・経営財務論の知識および財務分析技術を生かし、卒業論文を作成しています。論文作成の際



には、表面上に現れる数字のみではなく、その背後にある経営の実態を見抜き、正確に捉え、それを論述するように指導しています。

以上のような普段の授業の他にも、私の知人がホテル経営をしている群馬県の草津で毎年夏と冬に合宿を実施しています。観光産業におけるホテル経営の生き残りかけた過酷さ・厳しさ・大変さを経営者から直接聞き、また観光客を誘致する地元の人たちの本当の苦勞を現地で直接感じ取ることができる、学生にとって貴重な経験の場となっています。

増尾 賢一 教授 プロフィール

- 博士(経済学)
- 専門分野：経営学／経営財務論／経営分析論／財務会計論
- 担当：「経営学総論」「企業の財務活動」「経営分析論」



法学部

新任教員紹介

質問 ①学生時代はどのように過ごしていましたか ②専門分野の「ここが面白い!」と思う部分について教えてください ③学生へのメッセージ

木崎 峻輔 講師



①学生時代は法曹実務家になることを目指していたので、司法試験の受験勉強に打ち込んでいました。当時はまさか大学教員になるとは考えてもいなかったです。②刑法学においては論理的に考えることが重要とされますが、それだけではなく、社会の実情や犯罪・刑罰に関する国民感情に配慮して問題を考えることも必要な学問です。場合によっては相反することもある両者のバランスを考える点に面白さがあると思います。③大学生活の4年間は、皆さんの今後の人生を左右するかけがえのない大切なものになるでしょう。皆さんが充実した学生生活を送るために、できる限り力になりたいと思います。

専門分野：刑法、正当防衛

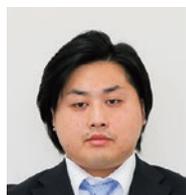
柴田 彬史 講師



①学生時代は授業や研究活動の傍ら、茶道を習得し、冬は友人とスキーに行くのが恒例でした。②民法には、定められている様々なルールどうしを結びつける理論構造、いわば論理パズルが存在します。これから勉強される皆さんは、条文を覚えるというよりも、この論理パズルを学び、おのずと定められているルールが導かれることを体感してほしいと思います。③皆さんに伝えたいことは、「基本を大事に!」ということ。基本さえしっかり押さえれば、細かい点は社会に出た後に必要に応じて学び足すことができます。何が起こるか分からない社会、出た後も柔軟に学べるように大学生活を生かしていきましょう。

専門分野：刑法、正当防衛

高村 紳 講師



①クラシックギターの合奏サークルに所属し、友人と毎日のように遊んでいました。法学は特に刑事法の分野に強い関心があり、少しでも多くのことを学ぼうと必死に授業に臨み、遊びに勉強に全力でした。②刑事訴訟法は大きく捜査と裁判(裁判の手続)という段階に分けられますが、捜査と裁判では問題の質も異なります。一つの法律の中で異なる性質の問題を扱い、様々な角度から検討を求められる点に刑事訴訟法学の面白さがあると思います。③大学生活で特に大事なものは、主体的に動くこと。望む分野の職に就き、学んだことを生かすためにも、自らチャンスを作って様々なことにチャレンジしてみてください。

専門分野：刑事訴訟法

田中 啓行 講師



①学生時代は手話サークルや聴覚障害学生の集まりに参加するなど、手話や情報保障(聴覚に障害がある人への手話通訳や文字通訳など)の活動をしていました。文字通訳の研究がしたいと思って文学部の大学院へ進み、日本語研究を始めました。②文章や談話などのデータから、人が書いたり話したりしている時にどのようなことを考えているのかということが見えてくるのが面白いです。言葉を通じて人間を研究しているのだと考えています。③学生の間は、少しでも興味を持ったことは試してみるといいと思います。思わぬところで、一生涯打ち込めるものが見つかったりすることもあります。積極的に行動して、自分の可能性を広げてください!

専門分野：日本語教育、文章・談話論

ニール ニュービル 講師



①大学時代は勉強が終わったら趣味に集中したり、友達と会ったり、日本人留学生と出かけたりしていました。その学習と休暇のバランスで知識と経験が広がりました。②英語教育の面白いところは、技術を使って学ぶことだと思います。今はスマホの時代。クラスメートと協力して語彙ゲームをしたり、リサーチをしたり、スマホでできるVRもあります。教室にいながら英語で道案内をし、VRで海外のどこかに行くというような実習はすごいなと思っています。③大学は何か新しいことにチャレンジしたり、新しい自分を発見することに適した素晴らしい場所です。大切な4年間を無駄にしないよう過ごしてください。

専門分野：外国語としての英語教育

ゼミ紹介

李 憲模 ゼミ

私のゼミでは、「地方自治の視点から日本に直面する諸課題」について考えていきます。年度初めにゼミ生同士で話し合ってチームを作り、地方自治はもちろん、政治・行政にまつわるテーマを設定し、研究テーマの発表内容を作成していきます。そして、毎年12月に開催される5つの大学(宇都宮・山梨県立・法政・四日市・中央学院)の「地方自治」、「行政学」および「公共政策」を研究するゼミナールによるジョイント合宿において、互いの研究成果を発表します。2泊3日の日程の中で、研究成果の発表と討論を

重ね共に学んでいくことは、お互いに刺激となるだけでなく、コミュニケーション能力や社会性も身につく、とても良い経験になります。地方自治とは意識するか否かを問わず、一人の住民として最も深く関わっていかざるを得ないものです。講義とは異なる形式のゼミを通して普段味わえない緊張感をはじめ、実践的な学問を通して学ぶことの喜びを実感する場でもあります。学生の皆さんには、このゼミでの経験を活かし、地域社会における一人としてこれからも活躍して欲しいと願っています。



李 憲模教授 プロフィール

- 博士(政治学)
- 専門分野：地方自治論/行政学/日韓比較(政治・行政)
- 担当：「地方自治論」「公務員論」「現代社会論」

現代教養学部

新任教員紹介

質問 ①学生時代はどのように過ごしていましたか ②専門分野の「ここが面白い!」と思う部分について教えてください ③学生へのメッセージ

なか がわ じゅんじ
教授 **中川 淳司**



①学生時代は山岳部に所属し、北アルプスの穂高岳や鹿島槍ヶ岳には何度も登りました。大学の授業にはそれほど熱心には出ず、歴史や思想、文学など濫読していました。②私の専門分野である国際経済法では、経済で世界がつながっていること、そこで国際ルールが大切な役割を果たしていることがよくわかります。米中貿易戦争、TPP、WTO改革など、今も、そしてこれからも大きな動きがある分野なので日々の動きに目が離せません。③21世紀の日本、さらに世界を担うのは皆さんです。大学の4年間で教養を身に付け、グローバルな視角を持ちつつ地域や職場でリーダーシップを発揮できる人になってください。

専門分野：国際経済法

准教授 **バヤスガラン オウンツェツェグ**



①大学では国際関係学を専攻しましたが、異文化理解、コミュニケーションに関する授業が好きでした。また、ロシア語や日本語の勉強を通じて価値観の違い、伝統や生活様式に根ざした道徳の多様性について関心を持ちました。これらの学びや経験が、自分に新しい世界を開いたと思います。②私の授業は一定の方向を指示・強制するものではありません。自分自身や他者との関係、社会について考え、身近な社会現象について共有する良い機会になると思います。③学んだ知識はいつか何らかの形で役に立ちます。皆さんにも、日々慣れ親しんでいる現在の生活から離れて世界に目を向ける機会も見つけてほしいです。

専門分野：道徳教育

どい きよみ
講師 **土井 清美**



①学生時代は友達と飲み語り、恋をし、テレビ局でアルバイトをし、アフリカやアジアへ山登りに出かけ、たくさん映画を見て過ごしました。②文化人類学は他者を深く理解するための「方法」や「観点」にとことんこだわる学問です。調査地で現場の人と同じことをし（フィールドワークといいます）、ショックや共感を大切にします。それらを道具に、常識や通念から自由になった「ものの捉え方」を探り出す作業が面白いです。③皆さん、40歳になった自分を想像してみてください。それまでの自分を振り返ったとき、褒めてあげられる学生時代を過ごしてください。20年後、ねざらいたくなるような学生時代を。

専門分野：文化人類学、巡礼・観光研究 身体論・場所論

ゼミ紹介 **黒川 知文** ゼミ

中央学院大学の恵まれた自然と学問と教育の環境で充実した日々を過ごせすことを、神様に感謝しています。学生諸君も心を切りかえて、「置かれた場所で花を咲かせる」こと。なぜなら、大学の1年と2年をどのように過ごしたのか、それによってその後の生き方が大きく違って来るからです。

「情熱なくしてすることはすべて無価値である」(マックス・ヴェーバー)。学生には情熱があります。下から燃え上がるその情熱を、「禁欲」で上から抑えてください。そうするとエネルギーが生じます。そのエネルギーを人生にとって有意義で、高尚なことに用いて下さい。「禁欲」とは「ある目標を達成するのに不

必要なものを捨てること」具体的には、合理的計画的組織的生活を意味します。

ゼミは、3年にわたる学問研究の場であり、家族的な人間的交流の場でもあります。内容のない書をいたずらに多読するよりも、価値ある書物を精読する方が、はるかに有益です。そこでゼミでは価値ある書物を精読します。

2年生ゼミでは「人類文明の基礎」である聖書を読みこみます。前期は、旧約聖書について学びます。講義を聞くだけでなく、学生は旧約聖書の特定人物を担当して調べて、レジュメを作成して発表します。後期は、新約聖書について同様に学びます。

3年生ゼミでは、前期において「不朽の学問的名著」であるマックス・ヴェーバーの『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』(岩波文庫)を担当して読み込み、歴史学と宗教社会学の方法を学びます。後期では、各自が研究課題を決めて発表します。卒論研究の開始です。

年数回の食事会、そして毎年9月にゼミ合宿を開催し、バーベキューやゲームをして交流を深め、夏休みに読んだ学術書の内容を発表し、また各自人生表を発表して将来の指針をさぐります。他に、学会参加、宗教施設訪問、ゼミ旅行、他ゼミとの交流も予定しています。

歴史に興味ある方、宗教に興味ある方、誠実に生きたい方、情熱ある方に来てほしいゼミです。定員5名。まじめな現メンバーは、教職、公務員、芸術、マスコミ関係等を志望。

「青春は永遠なり」学生時代は人生をほぼ決定します。ゼミでの思い出はいつまでも残ります。

黒川 知文教授 プロフィール

- 博士 (文学)
- 専門分野：西洋史／宗教史
- 担当：「宗教学」「ユダヤ教の思想」「キリスト教の思想」



GIRLS POWER OF

PEACE

NICE

CGU

元気いっぱい、学生生活を謳歌している女子学生たちを紹介します。



さまざまなスポーツでの活躍が目立つCGU。

漠然と男子学生ばかりのイメージを持っていませんか？

確かに女子学生の数は少ないものの、女の子たちだって負けてはいません。

自分のやりたいことにとことん取り組む。目標に向かって一生懸命努力する。

仲間と一緒に喜びを分かち合う。そして何より、大学生活をいっぱい楽しむ…

中央学院大学には、そんなバイタリティあふれる女子学生がたくさんおり、

キャンパスに彩りを加えています。

そこで今号では、元気いっぱいの女子学生に集ってもらいました。彼女たちの笑顔が、

より魅力あるCGUへと導いてくれるに違いありません。



部員2人なので他大学との
合同チームで大会に出場しています。
CGU単独チーム結成が今の目標。
経験不問、元気な人集まれ!



ソフトボール部

部のモットーは「グッドウイナーで
あり、グッドローザーであれ」。
関東学生ゴルフ連盟Aブロック優勝を
目指して活動しています。



ゴルフ部

男女15人で週2回、抹茶とお菓子を
楽しんでいます。大学祭でもお茶席を
用意。作法がわからなくても大丈夫、
ぜひのぞいてみてください。



空手道部

行政書士の資格取得を目指して勉
強しています。先輩たちのアドバイスや、
テストや就職の話など、参考になる話も
聞けますよ。



法制研究室

10月26・27日に行われる
「あびこ祭(大学祭)」の企画立案や運営を
行っています! 来場者の皆さんに楽しんで
いただけるよう、全力で頑張ります!



あびこ祭実行委員会

コンクールや定期演奏会、駅伝や
野球の応援と演奏機会は豊富。
心のこもった演奏で、聞く人に喜んで
もらえるよう努力しています。



吹奏楽団

初心者は初段、経験者は大会で
結果を残すなど、それぞれの目標に向け
練習に励んでいます。和気あいあい
とした雰囲気が部のウリ!



柔道部

秋大会の目標はリーグ戦優勝!
チームの一員として、全力で選手たちを
支えています。大会のアナウンスにも
挑戦しています。



硬式野球部マネージャー

部活は週4日で少し大変だけど、
優しく面白い先輩たちと楽しく毎日
過ごしています。体育館で練習してい
るのでのぞいてください。

明るく元気なメンバーぞろいの部。
関東3部リーグに所属、
2部リーグ昇格を目標にみんなで
助け合って頑張っています。



バレーボール部

私たちは週2日活動しており、
年4回大会にも出場しています。
1つでも上の順位になれるよう
日々、練習を行っています。



バドミントン部

関東大学女子サッカーリーグ
3部に所属。「2部昇格」を目標に
明るく楽しく活動しています。
初心者の方も大歓迎です!



サッカー部

駅伝や野球の応援、大学祭や
クリスマスパーティなど活躍の場が
たくさん。全力の応援で、
チームを勝利へと導きます!



チアリーディング部

大学祭や地域のお祭りでパフォー
マンスを披露。みんなで協力して、作品を
作り上げる達成感は格別です。



書道部

プライムセミナーで新入生の
サポートをしています! 新入生の思い出
になるような楽しいイベントを
私たちと一緒に作ってませんか?



プライムセミナースタッフ

学内外の活動を通して、
大学生活を楽しんでもらえるよう奮闘中。
正義感・責任感の強い人、
一緒に活動しましょう。



学生自治会

何でも相談しよう

学生相談室

最近、心の調子はどうですか？
 本学のエキスパートが相談にのってくれる学生相談室を紹介します。



片山 綾乃先生 臨床心理士/大学カウンセラー

秘密厳守。心の悩みに個別に対応

学生生活の中で戸惑ったり、うまくいかないことがあったり、思い悩んだりすることはありません。そんな時は一人で抱えこまず、学生相談室をご利用ください。CGUの学生、保護者ならどなたでも利用でき、相談時間は基本50分。予約優先なので、事前に電話やメールで予約されると確実です。

相談室は大学生活をよりよく過ごせるようサポートする場所です。からどんな内容の相談でもかまいません。相談室だけで解決できない

問題でも、一緒に考えたり他部署と連携をとって解決に導いていきますから、まずは相談室を訪ねて欲しいですね。うまく話せなくても大丈夫ですし、「ただ話をしに来る」だけでもかまいません。また月1回、精神科の先生も来校されています。もちろん秘密は厳守しますから、安心してご相談ください。

いきなり一対一の面接に抵抗がある人は、茶話会に参加してみれば、毎週金曜日の16時10分〜17時10分、お茶を飲みながらざっくばらんにおしゃべりしましょう。ほかにもクッキング企画やワークショップなどを随時行っています。大学のHPや学生掲示板をチェックしてみてください。

本当に困ったとき、誰かに相談するということは大切な「能力」です。自分のことを深く理解し、変わって行けるのが大学時代です。自分自身と向き合い、自信を持って社会に出て行って欲しい。そのための手助けができればうれしいですね。

開室時間: 月曜日～金曜日 10:00～18:00
場所: 中央学院100周年記念館(本館)1階
電話: 04-7183-6535(直通)
メール: soudan@cc.cgu.ac.jp
手紙: 〒270-1196 我孫子市久寺家451 中央学院大学 学生相談室宛

・臨時開室・時間変更はホームページと学内掲示でお知らせします。
 ・悪天候などで大学が休校、または授業が休講になった場合には、学生相談室もお休みとなります。

毎年恒例のクッキング企画でピザ作りに挑戦。片山先生は相談以外にもグループワークやクッキング企画について豊富なアイデアを持っており、学生の皆さんが楽しめるイベントも今後も計画中心みさん気軽に参加してください。

2018年度 学長特別表彰

TOEIC 600点
森 功輔(商4年)
 <茨城県立下妻第二高校出身>

TOEIC 640点
斎藤 隼人(商3年)
 <私立東京農業大学第一高校出身>

法学検定試験スタンダード中級
岡田 彩里(法3年)
 <千葉県立八千代東高校出身>
泉 里穂(法3年)
 <秋田県立横手城南高校出身>
井上 雄登(法3年)
 <千葉県立茂原高校出身>
佐藤 敬(法3年)
 <新潟県立直江津高校出身>
大面 光輝(法2年)
 <愛媛県立伊予高校出身>

2019年度 後援会特別表彰

団体
駅伝部・バレーボール部・ゴルフ部

個人
川村 悠登(駅伝部・法4年)
 <私立中央学院高校出身>
藤井 雄大(駅伝部・法4年)
 <大分県立大分西高校出身>
有馬 圭哉(駅伝部・法4年)
 <兵庫県立東播磨高校出身>
大濱 輝(駅伝部・法4年)
 <兵庫県立須磨友が丘高校出身>
石綿 宏人(駅伝部・法3年)
 <松戸市立松戸高校出身>
高橋 翔也(駅伝部・法3年)
 <船橋市立船橋高校出身>
吉田 光汰(駅伝部・法2年)
 <私立拓殖大学紅陵高校出身>
青柳 達也(駅伝部・法2年)
 <横須賀市立横須賀総合高校出身>
栗原 啓吾(駅伝部・法2年)
 <私立東京農業大学第二高校出身>

教職員採用・人事異動

2019年4月1日付	
○新採用(教員)	
大驛 潤	商学部教授
森元 晶文	商学部准教授
松井 一馬	商学部講師
木崎 峻輔	法学部講師
柴田 彬史	法学部講師
高村 紳	法学部講師
田中 啓行	法学部講師
ニール ニュービル	法学部講師
中川 淳司	現代教養学部教授
パヤスガラン オユンツェツェグ	現代教養学部准教授
土井 清美	現代教養学部講師
○移籍(教員)	
林 健一	現代教養学部准教授(社会システム研究所より)

○昇格(教員)	
増尾 賢一	商学部教授
柴田 優子	法学部教授
水間 大輔	法学部教授
土屋 耕平	法学部准教授
○任命(教員)	
佐藤 寛	現代教養学部長(再任)
林 健一	現代教養学部長補佐
○新採用(職員)	
片山 綾乃	学生相談室(カウンセラー)
諸戸 裕明	教務課
太田 恭介	入試広報課
壬生倉弥弥	中央学院高等学校事務室
○昇格・異動(職員)	
田丸 彰義	財務部次長・経理課長
藤井 信夫	入試広報部次長 アドミッションオフィス事務次長

嘉本 進	大学評価・研究支援室主任
根本 三男	就職部長
早坂 満	学事部長
高橋 輝成	入試広報課長 アドミッションオフィス事務課長
石毛 一成	経理課主任
松田 麻希	教務課
入山 弘章	就職課
田中 将樹	中央学院大学中央高等学校事務主任
【退職者】2019年3月31日付	
(教員) 加藤 達男	商学部教授
松崎 英敏	商学部教授
大村 泰樹	法学部教授
平澤 修	法学部教授
山本 晶樹	法学部教授
小池 有紀	学生相談室(カウンセラー)
(職員) 大山 隆	

財務情報

◆平成30年度 資金収支計算書(決算)

平成30年4月1日～平成31年3月31日(学校法人中央学院)

(単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	3,834,590,800	人件費支出	3,246,640,453
手数料収入	114,627,444	教育研究経費支出	1,332,223,376
寄付金収入	116,703,905	管理経費支出	463,647,166
補助金収入	840,421,391	借入金等利息支出	11,227,386
資産売却収入	567,943,747	借入金等返済支出	74,888,000
付随事業・収益事業収入	18,402,000	施設関係支出	25,546,752
受取利息・配当金収入	111,673,374	設備関係支出	95,704,572
雑収入	314,561,962	資産運用支出	288,754,235
前受金等収入	0	その他の支出	(予備費)
前受金収入	1,003,530,000	資金支出調整勘定	△ 314,641,796
その他の収入	2,652,167,141	翌年度繰越支払資金	1,991,024,346
資金収入調整勘定	△ 1,215,385,997		
前年度繰越支払資金	2,480,910,745		
収入の部合計	10,840,166,512	支出の部合計	10,840,166,512

◆平成30年度 活動区分資金収支計算書(決算)

平成30年4月1日～平成31年3月31日(学校法人中央学院)

(単位 円)

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	3,834,590,800	借入金等収入	0
手数料収入	114,627,444	引当特定資産取崩収入	614,402,136
特別寄付金収入	36,203,708	貸付金回収収入	40,000
一般寄付金収入	80,500,197	預り金受取収入	1,476,704
経常費等補助金収入	835,142,346	仮受金受取収入	1,008,176
付随事業収入	18,402,000	短期有価証券売却収入	550,000,000
雑収入	314,561,962	引当特定資産売却収入	17,943,747
教育活動資金収入計	5,234,023,640	仮払金回収収入	338,244
人件費支出	3,246,640,453	小計	1,185,209,077
教育研究経費支出	1,332,223,376	受取利息・配当金収入	111,673,374
管理経費支出	463,647,166	その他の上記以外の収入	24,817
教育活動資金支出計	5,042,510,995	その他の活動資金収入計	1,296,907,198
差引	191,512,645	借入金等返済支出	74,888,000
調整勘定等	61,530,588	短期有価証券購入支出	1,099,950,000
教育活動資金収支差額	253,043,233	引当特定資産繰入支出	621,059,638
科目	金額	預り金支払支出	19,278,610
施設整備寄付金収入	0	仮受金支払支出	996,436
施設整備補助金収入	5,279,045	仮払金支払支出	5,783,656
施設整備売却収入	0	商標権支出	56,400
引当特定資産繰入収入	1,813,295,959	小計	1,822,012,740
施設整備等活動資金収入計	1,818,575,004	借入金等利息支出	11,227,386
施設関係支出	25,546,752	その他の活動資金支出計	1,833,140,126
設備関係支出	95,704,572	差引	△ 536,232,928
引当特定資産繰入支出	1,904,242,384	調整勘定等	0
施設整備等活動資金支出計	2,025,493,708	その他の活動資金収支差額	△ 536,232,928
差引	△ 206,918,704	支払資金の増減額	△ 489,886,399
調整勘定等	222,000	(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 489,886,399
施設整備等活動資金収支差額	△ 206,696,704	前年度繰越支払資金	2,480,910,745
(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	46,346,529	予備費	0
小計		翌年度繰越支払資金	1,991,024,346

活動区分ごとの調整勘定等の計算過程は以下のとおり。

(単位 円)

項目	資金収支計算書計上額	教育活動による資金収支	施設整備等活動による資金収支	その他の活動による資金収支
授業料前受金収入	390,450,000	390,450,000	0	0
入学前受金収入	313,340,000	313,340,000	0	0
施設整備前受金収入	299,740,000	299,740,000	0	0
前期未収入金収入	221,605,922	218,695,922	2,910,000	0
期末未収入金	△ 249,830,997	△ 247,142,997	△ 2,688,000	0
前期未授業料前受金	△ 388,625,000	△ 388,625,000	0	0
前期未入学前受金	△ 283,500,000	△ 283,500,000	0	0
前期未施設整備前受金	△ 293,430,000	△ 293,430,000	0	0
収入計	9,749,925	9,527,925	222,000	0
前期未支払金支払支出	262,639,133	262,639,133	0	0
期末未支払金	△ 314,641,796	△ 314,641,796	0	0
支出計	△ 52,002,663	△ 52,002,663	0	0
収入計-支出計	61,752,588	61,530,588	222,000	0

◆令和元年度 資金収支予算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日(学校法人中央学院)

(単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	4,155,903,000	人件費支出	3,217,995,000
手数料収入	87,297,000	教育研究経費支出	1,341,093,000
寄付金収入	78,010,000	管理経費支出	514,356,000
補助金収入	853,028,000	借入金等利息支出	10,630,000
資産売却収入	1,000,000,000	借入金等返済支出	74,888,000
付随事業・収益事業収入	15,000,000	施設関係支出	12,900,000
受取利息・配当金収入	141,092,000	設備関係支出	127,361,000
雑収入	191,109,000	資産運用支出	619,747,000
借入金等収入	0	その他の支出	314,641,796
前受金収入	819,450,000	(予備費)	20,000,000
その他の収入	249,830,997	資金支出調整勘定	△ 162,260,000
資金収入調整勘定	△ 1,158,569,000	翌年度繰越支払資金	2,332,023,547
前年度繰越支払資金	1,991,024,346		
収入の部合計	8,423,175,343	支出の部合計	8,423,175,343

◆令和元年度 活動区分資金収支予算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日(学校法人中央学院)

(単位 円)

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	4,155,903,000	借入金等収入	0
手数料収入	87,297,000	短期有価証券売却収入	1,000,000,000
特別寄付金収入	9,000,000	小計	1,000,000,000
一般寄付金収入	68,010,000	受取利息・配当金収入	141,092,000
経常費等補助金収入	849,228,000	その他の活動資金収入計	1,141,092,000
付随事業収入	15,000,000	借入金等返済支出	74,888,000
雑収入	191,109,000	短期有価証券購入支出	500,000,000
教育活動資金収入計	5,375,547,000	引当特定資産繰入支出	5,324,000
人件費支出	3,217,995,000	小計	580,012,000
教育研究経費支出	1,341,093,000	借入金等利息支出	10,630,000
管理経費支出	514,356,000	その他の活動資金支出計	590,642,000
教育活動資金支出計	5,073,444,000	差引	550,450,000
差引	302,103,000	調整勘定等	0
調整勘定等	△ 244,357,799	その他の活動資金収支差額	550,450,000
教育活動資金収支差額	57,745,201	支払資金の増減額	360,999,201
科目	金額	(小計+その他の活動資金収支差額)	360,999,201
施設整備寄付金収入	1,000,000	前年度繰越支払資金	1,991,024,346
施設整備補助金収入	3,800,000	予備費	20,000,000
施設整備売却収入	0	翌年度繰越支払資金	2,332,023,547
施設整備等活動資金収入計	4,800,000		
施設関係支出	12,900,000		
設備関係支出	127,361,000		
引当特定資産繰入支出	114,423,000		
施設整備等活動資金支出計	254,684,000		
差引	△ 249,884,000		
調整勘定等	2,688,000		
施設整備等活動資金収支差額	△ 247,196,000		
(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 189,450,799		

◆平成30年度 事業活動収支計算書(決算)

平成30年4月1日～平成31年3月31日(学校法人中央学院)

(単位 円)

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	3,834,590,800	事業活動収入計	5,375,547,000
手数料	114,627,444	人件費	3,247,303,832
寄付金	117,675,459	教育研究経費	1,821,682,540
経常費等補助金	835,142,346	管理経費	554,145,947
付随事業収入	18,402,000	徴収不能額等	0
雑収入	314,557,145	教育活動支出計	5,623,132,319
教育活動収入計	5,234,995,194	教育活動収支差額	△ 388,137,125
科目	金額	科目	金額
事業活動収入計	5,375,547,000	受取利息・配当金	111,673,374
人件費	3,247,303,832	その他の教育活動外収入	24,817
教育研究経費	1,821,682,540	教育活動外収入計	111,698,191
管理経費	554,145,947	借入金等利息	11,127,386
徴収不能額等	0	その他の教育活動外支出	0
教育活動支出計	5,623,132,319	教育活動外支出計	11,127,386
教育活動収支差額	△ 388,137,125	教育活動外収支差額	100,570,805
科目	金額	経常収支差額	△ 287,566,320
事業活動収入計	5,375,794,243		
事業活動支出計	5,635,499,683		

◆貸借対照表

平成31年3月31日(学校法人中央学院)

(単位 円)

資産の部		負債・純資産の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	22,320,327,405	固定負債	2,134,663,684
有形固定資産	17,643,968,012	長期借入金	878,041,000
土地・建物・構築物	15,352,196,271	退職給付引当金	1,254,622,684
機器備品	158,891,588	その他	2,000,000
図書	2,130,734,463	流動負債	1,586,808,820
その他	2,145,690	負債の部合計	3,721,472,504
特定資産	4,639,467,242	基本金	37,524,928,005
その他の固定資産	36,892,151	繰越収支差額	△ 16,129,333,267
借地権	17,248,440	純資産の部合計	21,395,594,738
その他	2,796,739,837		
流動資産	2,796,739,837	資産の部合計	25,117,067,242
資産の部合計	25,117,067,242	負債及び純資産の部合計	25,117,067,242

(注)学校法人会計基準の一部を改正する省令(平成25年4月22日文科省令第15号)に基づき、計算書類の様式を変更した。

◆財産目録(抜粋)

平成31年3月31日(学校法人中央学院)

(単位 円)

科目		金額
I 資産総額		25,117,067,242
内 1 基本財産		17,181,488,406
(1) 土地		4,875,509,977
(2) 建物	73,016.94㎡	9,728,218,877
(3) 構築物		250,668,996
(4) 機器備品	23,210点	158,891,588
(5) 図書	352,465冊	2,130,734,463
(6) その他の基本財産		37,464,505
2 運用財産		7,935,578,836
(1) 預貯金・現金		1,991,024,346
(2) 特定資産(有価証券を含む)		5,189,417,242
(3) 不動産		497,798,241
(4) その他の運用財産		257,338,827
II 負債総額		3,721,472,504
III 正味財産		21,395,594,738

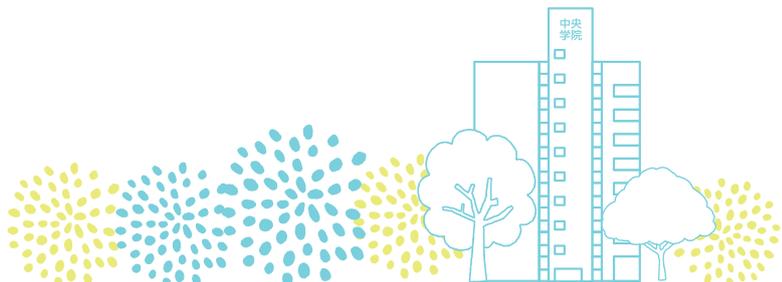
(注)正味財産について、取得価額基準(規則的な減価償却を行っている場合の帳簿価額、金銭債権について徴収不能見込額を控除した場合の帳簿価額を含む。)によっている。

◆令和元年度 事業活動収支予算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日(学校法人中央学院)

(単位 円)

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	4,155,903,000	事業活動収入計	5,375,547,000
手数料	87,297,000	人件費	3,359,735,000
寄付金	77,010,000	教育研究経費	1,844,093,000
経常費等補助金	849,228,000	管理経費	610,356,000
付随事業収入	15,000,000	徴収不能額等	0
雑収入	191,109,000	教育活動支出計	5,814,184,000
教育活動収入計	5,375,547,000	教育活動収支差額	△ 438,637,000
科目	金額	科目	金額
事業活動収入計	5,375,547,000	受取利息・配当金	141,092,000
人件費	3,359,735,000	その他の教育活動外収入	0
教育研究経費	1,844,093,000	教育活動外収入計	141,092,000
管理経費	610,356,000	借入金等利息	10,630,000
徴収不能額等	0	その他の教育活動外支出	0
教育活動支出計	5,814,184,000	教育活動外支出計	10,630,000
教育活動収支差額	△ 438,637,000	教育活動外収支差額	130,462,000
科目	金額	経常収支差額	△ 308,175,000
事業活動収入計	5,375,547,000		
事業活動支出計	5,814,814,000		



Schedule

2019年度 学年暦

補講 (6時限目)	7/8(月)~7/12(金)
※祝日等の授業実施日	7/15(月) 海の日
春セメスター (前期) 授業終了	7/26(金)
春セメスター (前期) 定期試験	7/29(月)~8/2(金)
春セメスター (前期) 集中授業	8/3(土)~8/6(火)
夏季休業	8/7(水)~9/19(木)
春セメスター (前期) 追・再試験	9/2(月)~9/5(木)
秋セメスターガイダンス(商1・2年、現代1・2年)	9/18(水)
秋セメスターガイダンス(商3・4年、現代3年)	9/19(木)
秋セメスター (後期) 授業開始	9/20(金)
春セメスター 卒業式	9/30(月)
秋セメスター 履修登録 (商4年)	10/1(火)
秋セメスター 履修登録 (商3年)	10/2(水)
秋セメスター 履修登録 (商2年)	10/3(木)
秋セメスター 履修登録 (商1年)	10/4(金)
秋セメスター 履修登録 (現代1・2・3年)	10/7(月)
※祝日等の授業実施日	10/14(月) 体育の日
あびこ祭 (大学祭) 準備日	10/25(金) ●授業なし
あびこ祭 (大学祭)	10/26(土)~10/27(日)
※祝日等の授業実施日	11/4(月) 文化の日振替休日
補講 (6時限目)	11/4(月)~11/8(金)
補講 (6時限目)	12/9(月)~12/13(金)
年内授業終了	12/23(月)
冬季休業	12/24(火)~1/9(木)

※7/15(月)、10/14(月)、11/4(月)は祝日ですが、授業を実施します。
※大学院の学年暦はホームページをご覧ください。

New Goods

ちゅーいんこの新商品を紹介します! ※税抜価格



こまんじゅう (16個入)
550円



プリントクッキー (14枚入)
650円



ちゅーいんこネクタイ
1,200円



ピンパッチ
250円



フェイスタール
700円



ペットボトルカバー
200円



トートバッグ(白)
600円



トートバッグ(紺)
600円



ビニール傘 (全4色)
800円

お求めは
購買部松井書店
04-7183-4354

Renovation

中央学院大学のホームページが
新しくなりました!

<https://www.cgu.ac.jp>



(完成予想図)



(完成予想図)

2階・3階部分が教育の質向上のためのアカデミックスペースやカフェスタイルのスペース、イベントにも対応可能なコミュニティスペースとなり、学生の皆さんの目的や用途に合わせ、快適に利用できる空間に生まれ変わります。詳細については、後日ホームページでお知らせいたします。

■ 学部のトピックやクラブの活動情報など大学ホームページやSNSをチェック!!



Seminar House

夏季期間 7/1(月)~9/30(月)

夏季期間における館山セミナーハウスの
予約を受け付けています。

予約手順

- ①利用予定日と人数を学生課窓口にお知らせください。
「仮予約」として受け付けます。
◎電話でも受け付けます。◎「仮予約」の有効期限は受け付け後2週間です。
- ②利用予定日の1週間前までに「使用申込書」(※1)に「利用料金」(※2)を添えて学生課窓口で申し込みをしてください。「本予約」として承ります。
◎取消・変更は、利用開始日の3日前までに学生課に届け出てください。
◎8/9(金)~8/26(月)は、8/1(木)までに本申し込みを済ませてください。
※1 大学ホームページからダウンロード、または学生課窓口でお受け取りください。
※2 1泊2食 学内者(家族を含む)3,000円、学外者4,000円。別途料金にて特別料理あり。

〈お問い合わせ先〉 学生課 04-7183-6518



Mail Delivery Service

メール配信サービスのご案内

保護者の方へ

ホームページでのお知らせや大学からの連絡を長期休業期間を除き、月に1回程度メールにてご案内します。登録を希望される方は、こちらよりご登録ください。



中央学院大学 学報 第134号

【発行日】2019年7月1日
【発行 者】中央学院大学
〒270-1196 千葉県我孫子市久寺家451 Tel.04-7183-6517
【編集協力】東京平版(株)メディアコンテンツ部

学報について、
ぜひ皆さまのご意見、
ご感想をお寄せください。
gakuho@cgu.ac.jp
(企画課)